



くさのみ♪ 歌の交流会



5月28日（水）音訳ボランティアグループの「くさのみ」が、リスナーとの歌の交流会をボランティアセンターで開催しました。

「くさのみ」花塚会長の進行で、まず始めに久しぶりに会うリスナーの皆さんと会員がそれぞれ近況報告を兼ねて、一言ずつあいさつをしました。その後、交流会がスタートし、手塚さんによる佐藤愛子著「まだ生きている」の朗読では、心にしみるその朗読に皆さん耳を傾けていました。続けて、朗読劇「念仏三昧」では、稲村さんが語りを担当し、金子さんが役になりきり心を込めて朗読しました。

更にスペシャルゲストの吉住さんが登場し、ハーモニカの演奏を披露しました。懐メロや演歌を中心に演奏し、漫談風のおしゃべりを交えながら、皆さんを楽しませ、最後は舟木一夫の「高校三年生」で盛り上がりました。アンコールでは、となりのトトロの「さんぽ」を披露して演奏を締めくくりました。



リスナーの佐藤さんは、アカペラで歌を披露し、吉住さんのハーモニカの演奏とコラボする場面もありました。次に、2グループに分かれ、わらべ唄を皆で歌ったり、歌遊びで体操を行うなど盛りだくさんの内容でした。

お弁当タイムでは、全員でテーブルを囲み、食事とおしゃべりを楽しんでいました。限られた時間ではありましたが、皆さんこの貴重なひとときを大いに楽しまれた様子でした。

